

大学院看護学研究科 博士前期課程		授業 科目	がん化学療法看護 Nursing Care of Patients Receiving Cancer Chemotherapy			担当 教員	鈴木志津枝(専任) 足利幸乃(非常勤) 田中登美(非常勤)	
開講年次	1年次後期	単位数	2単位	科目 分類	専門科目 実践看護学	授業形態	講義、セミナー	
選択必修	選 択	時間数	30時間			使用教室		
授業の目的及びねらい		<p>新しい有効な抗がん剤も登場し、がん治療における化学療法の役割はますます重要になってきています。本講義を通して、がん化学療法の最新の薬剤の治療効果や特徴、副作用を学び、がん化学療法を受ける患者に生じる症状のアセスメントと看護ケア、さらに家族への援助についても学習を深める。これらの学びを踏まえて、がん化学療法看護におけるがん看護専門看護師の果たすべき役割を開発していく能力を育成する。</p>						
授業のキーワード		<p>抗腫瘍薬の投与・管理，インフォームドコンセント，有害事象と対策，看護ケア，リスクマネジメント，臨床試験，生活支援，患者・家族教育</p>						
講義回数	授 業 内 容 及 び 計 画							
第1回 第2回 第3回 第4回 第5回 第6回 第7回	<p>第1回～7回（足利） 抗腫瘍薬の安全な取り扱いと投与・管理，リスクマネジメント1 抗腫瘍薬の安全な取り扱いと投与・管理，リスクマネジメント2 化学療法を受ける患者に生じる副作用と看護ケア1 化学療法を受ける患者に生じる副作用と看護ケア2 化学療法を受ける患者に生じる副作用と看護ケア3 化学療法を受ける患者への Evidence-based Nursing 1（英文献購読とプレゼンテーション） 化学療法を受ける患者への Evidence-based Nursing 2（英文献購読とプレゼンテーション）</p>							
第8回 第9回 第10回 第11回 第12回	<p>第8回～12回（田中） がん化学療法を受ける患者・家族への教育 事例から学ぶ症状のアセスメントと看護ケア1 事例から学ぶ症状のアセスメントと看護ケア2 外来化学療法における看護の役割と課題 がん化学療法を受ける患者へのチームアプローチ，がん看護専門看護師の役割</p>							
第13回 第14回 第15回	<p>第13回～15回（鈴木） がん化学療法を受ける患者の心理社会的特徴と援助①（英文献購読とプレゼンテーション） がん化学療法を受ける患者の心理社会的特徴と援助②（英文献購読とプレゼンテーション） がん化学療法を受ける患者家族の心理社会的特徴と援助（英文献購読とプレゼンテーション）</p>							
テキスト								
参考文献	<p>参考文献は授業の中で提示します。</p>							
成績評価の方法	<p>出席・授業への参加態度（10%），プレゼンテーション（90%）</p>							
教員から学生へのメッセージ	<p>本授業を受ける事前学習として9月初旬に外来化学療法室での1週間の実習を行い、学びの成果を授業中に行うプレゼンテーションに活用していただきます。</p>							